

くらます 1282m (鳥取県)

DATE : 2004 年 3 月 13 日 (土)
Course : 加治川林道 ~ 山頂 (往復)
Member : 石野 (L) K2 168cm, FRITSCHI DIAMIR2, GARMONT G-RIDE
田代 DYNASTAR 150cm, FRITSCHI DIAMIR2, NORDICA TR-12
大本 HAGAN FREERIDE 170cm, FRITSCHI DIRMIR3, NORDICA TR-12
Weather : 曇り後快晴

昨年、石野氏、横小路氏、大塚氏が西(岩屋堂)方向からこの山を攻めた。しかし猛烈なブッシュに阻まれ山頂までの道のりは容易ではなかったと聞く。今回は新しいルート開拓に向け東側の加治川の林道から尾根に取付き山頂を目指す。

8:04 450m 加治川の橋

林道まではヤマメの解禁で車が入ってきているので雪があるが車輪のトレースは付いていた。しかし、地面は凍結していたため途中で車をデポしスタートすることにした。少し行くとコテージと橋がある。この橋からスタートである。雪はない。スキーを担いで進む。585m 付近から雪が出始め、シール歩行を開始する。北東方向には氷ノ山の三ノ丸の白い斜面が見える。

9:44 900m 林道分岐発

地図を見れば手前に取り付けそうな谷が走っているが雪の付き具合がイマイチであったので予定通りの谷から稜線へ向けて高度を稼ぐ。谷はデブリが出ている。なかなか斜度のある谷である。シールでどんどん進む。徐々に晴れ間が覗いてきた。

10:50 1235m 稜線着

デブリ発生元があるコルへの歩行は困難であった為、予定よりも南に進路を取るとかなり上部に出た。空は晴れ渡り、シャツ1枚で大汗。清々しい。

11:06 1265m 東斜面着

目の前に現れたのは静寂と真っ白な斜面。当然、誰も滑っていない。三室山、藤無山、氷ノ山、東方向の山が一望できる。ザックをデポし、くらます山頂を目指す。

11:20 1282m くらます山頂

雪尻状のおそらく山頂であろうというところで記念撮影。北方向には真っ白な東山、沖ノ山が見える。時間はたっぷり。ここから東面斜面に滑り込む。



デブリを縫うように登る



山頂にて記念撮影(右後方は東山)

12:57 昼食

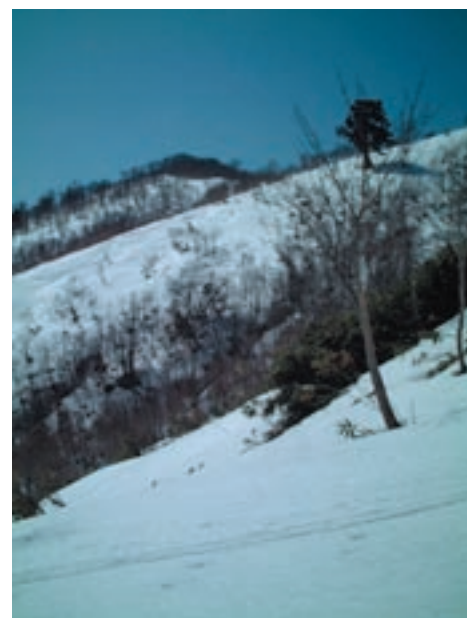
雪の状態はザラメ雪で予想以上に快適に滑ることができた。3本滑ってお昼とした。ビールで乾杯。ハラペコ。

14:50 900m 林道分岐着

あっという間に林道へ出た。谷の取り付け地点に赤テープで印を付けて置く。

15:32 450m 加治川の橋

林道には石が転がっていて、さらに一部凍結し始めていたが、雪がなくなるまでは滑ることができた。



くらます山頂と滑り放題の斜面

林道歩きは1時間40分。稜線までの1時間半は苦しいが、その後は天国のような斜面が待っている。トータルで山頂までは3時間半程度。下山は1時間程度でスピーディに下ることができる。厳冬期は雪崩に注意しなければならないが、びっしりと雪が付いていれば橋まで滑ることができるだろう。天気も良く、斜面も良く、1日よく滑り、大満足であった。